

## 第3回学校運営協議会

日 時：令和4年9月15日（木）18時～19時30分

場 所：地域交流室

参加者：委員11名、職員5名（計16名）

欠席者：委員3名（資料・記録送付済み）

### 【内容】

司会：委員長 記録：副校長

#### ○ 9月中旬までの学校経営のふりかえりについて

##### ・職員の様子

コロナで休む職員がいても、マンパワーを生かして乗り切っている。よい雰囲気である。

##### ・行事について

感染対策をしながら、修学旅行と清水宿泊体験学習に行くことができた。ドリームライブは1・6年がコロナの影響で行えていない。

10月は運動会、11月は全校遠足を試行錯誤しながら子ども達のために行っていきたい。

##### ・子ども達の様子

落ち着いて頑張っている。長期の休み明け少しずつ欠席している子もいる。職員全体で関わっている。

##### ・授業の様子

CREATE を実現するべく授業改善を進めている。重点研は「自分で考え行動できる子の育成」という研究主題のもと、職員全員の授業力向上を進めている。地域の方にも協力していただいて児童をともに育てている。

例

1年・・・秋の花を植えよう

2年・・・綿花

3年・・・公園

4年・・・グリーンカーテン 福祉活動

5年・・・鶴見川の環境を守るなど

6年・・・地域のパン屋さんと新商品開発

#### 質疑応答

- ・運動会を1～3年、4～6年に分けた意図は同じクラス数で競い合い、盛り上げるため。

低学年と高学年が見合う時間も運動会前に見合う設定をしている。

- ・低学年の部は中学生の力を借りる。
- ・GIGA は自然に i P a d が入ってきて教師とのやりとりやグループで考えをまとめるなど共同思考に役立っている。文房具として使っている。アナログのよいところも生かして併用している。著作権や情報モラルを発達段階に合わせて話している。写真は年度末に消去している。
- ・水泳は 6 年が 3 年ぶりに 1 回だけだった。スクール水着は学校でしか着ないので家庭で使えるものを許可してほしい。
- ・多くの荷物を持ち運んで大変そうな児童がいるので、重量を測るなどして、学年ごとに持ち帰りを工夫して行ってほしい。低学年児童がふらふらしていたら高学年が助けるなども大切。
- ・学校へ行きたくない児童への支援は寄り添いながら続けている。新しく来られなくなった場合は理由を探っている。

○ 創立 30 周年記念実行委員会について

学校運営協議会で下支えしていただく。

実行委員長のご挨拶。副実行委員長 2 名の方とともに 30 周年やってよかったと思えるものにしたい。

組織図、実行委員紹介、規約等

児童も来年 30 周年とわくわくしてもりあげたいと内容を考えている。6 年生も置き土産として関わりたいと言っている。

一期生を呼ぶ、これまでの歴史をあらかじめ伝える機会をつくるなど 30 周年のイメージを湧かせるようにする。将来の糧になるように。長いスパンで少しずつ行っていく。

○ 本校の学援隊の拡充について

PTA 会長をやめると自動的に学援隊会長になるという申し送りについて確認。本来は親がやるべきだ。10 月 4 日の集会で学援隊の皆さんをお呼びして全校児童に紹介する。入学式で紹介するなど今後も定期的に知らせていく。交通安全については歩車分離のため意識が低い。募集については自治会の協力を得ながら地図をつけるなど資料を工夫して全戸配付を検討してほしい。

次回 11 月 7 日

以上